

# 関東福祉専門学校 平成30年度 教育課程編成委員会

## 議事録

日時：2019年3月22日（金）14時～16時

会場：関東福祉専門学校 301 教室

出席者

### 【外部委員】

1. 団体役員・有識者  
佐々木綾子 千葉大学 国際教養学部 講師
2. 企業等役職員  
加藤英樹 撫でし子株式会社 理事長
3. 企業等役職員  
竹本妙子 クイーンズビル桶川 施設長

### 【学校委員】

1. 尾島 朱美 学校長（領域 介護 領域主任）
2. 生方 薫 教務主任（領域 人間と社会 領域主任）
3. 船越 芙美子 専任講師（領域 こころとからだのしくみ 領域主任）
4. 小林 真弓 事務課長
5. 高橋 良亘 事務係長

### 【オブザーバー】

長谷川 方代 専任講師

以上9名

### 1.開会 挨拶 関東福祉専門学校校長

年末のお忙しい中、ご足労いただきありがとうございます。意見をいただき今後の活動に役立てていきたいと考えております。

### 2.委員の紹介

資料参照

### 3.学内見学

本日は実施せず

#### 4. 今年度の教育目標・授業内容について

パワーポイント参照。国家試験対策を計画的に行った。地域貢献活動、芸能福祉講座について説明。地域貢献活動については10年前のカリキュラム編成から始めた活動。

最近では学校を公開することも増え、学校を公開することで介護とは離れる部分もあるかもしれないが「生活」という場面では共通することも多いと考えている。

現在の学校としての課題は学力の向上。今までの教授簿ではうまくいかないことも多くなっており、外国の人が日本にどのようになじみ、どこに落としどころを見つけていくかがポイントと考えている。授業の中でも日本文化や習慣を授業の中で教えていく必要があると考えている。

#### 5. 各委員からの意見要望

・留学生からしてみると「わかりました」というが実はわかっていないことが多い。こちらが話したことを自分の解釈した言葉でもう一度繰り返すことで本人も理解できていないこと、こちらでも理解できていないことがわかる。教育を受けること、生活することは価値観が違う。留学生は借金をして日本に来ている。多分単独では来ていないはずであり、その背後にあるものを知っておく必要がある。(佐々木委員)

・31年度の入学者数は何名になりますか？(加藤委員) → 49名 + 留年数名

・国家試験の合格率など学習面で困難な様子が見られるようであるが、理由はどんなことがあると考えているか。日本語能力？仕事？モチベーション？(加藤委員)

→日本語に関してはN3相当で入学を許可している。実際は書くことが難しく、課題が多いと考えている(生方)

書くことも課題であるが文章を読むこともできない。その中で自分たちにはどうせできないと諦めてしまうこともある。学生自体モチベーションを上げることの困難さを感じている(長谷川)

5年縛りの真ただ中であり(国家試験に合格しなくても5年後には介護福祉士の資格が得られること)、そこに甘えが生じている可能性がある。今年度受験者数は例年に比べて少なかったという報告もある。背景には養成校が足切りをして受験をさせなかった可能性もある。しかし当校は全員受験をさせている(校長)

・5年縛りのルールとは？(加藤委員)

→平成34年までは養成校を卒業した者は国家試験に不合格であっても期限付きの介護福祉士の資格が得られるというもの。その間介護福祉士の国家試験に合格するか5年間働くことで無期限の介護福祉士の資格を得ることができる。平成34年以降はこの制度が廃止され「特定技能1」になる予定である(校長)

・生活の場面で日本語はベトナム語にすべて訳して指導した。特にゴミの出し方については

力を入れたが、できない。紙面だけではなく、実際に一緒に行動をして理解度を確認するべき（竹本委員）

・学校側は全員が同じ方向に進めるように力を入れるべき。2年間モチベーションを保てるように援助して欲しい（竹本委員）

・学生から実習はタダ働きをさせられているという声が聞かれるが…（竹本委員）

→事前指導を行っているがなかなか落とし込めていない現状がある（校長）

・アルバイトはコンビニが多いのですか？（佐々木委員）

→修学資金のこともあるのでマッチングを行い、できるだけ介護でのアルバイトをしてもらうようにしている。また、介護のアルバイトをしていない学生でも介護のアルバイトをしたいと申し出てくる学生も多い。時給は他のアルバイトと比べると時給はあまり良いとは言えない。オープンキャンパスではこのことも説明をして学校を選んでもらっている（生方）

・単位制の履修（パートタイム制）はできないのか。専門学校という特性上難しいかもしれないが他者と連携をしてはたらきかけてもよいのではないか（佐々木委員）

→専門学校の規定では4教科以上の不可があればすべて再履修となる。単位制にすると1年間でそのコマだけの履修になりかえってオーバーワークにつながる可能性もある。すべての再履修は学生にとっては負担となるかもしれないが学校としては安心である（生方）

教育的配慮もある。しかし出席が足りなければ難しいこともある。学校としても在籍期間が4年間という決まりがありその中で学生が学べるのがベストと考えている（校長）

## 6.その他 次回委員開催の日程について

次回8月23日（金）14時～ 関東福祉専門学校

## 7. 閉会

---

### 資料

1. 委員名簿
2. 2018年度 学生便覧・授業概要 1年・2年
3. 国家試験対策講座・国家試験直前対策講座時間割
4. パワーポイント資料